



登り窯



作業場の風景



サイン



木漏れ日のなかで



煙突



私の定位置



碇 健

Ken Ikari

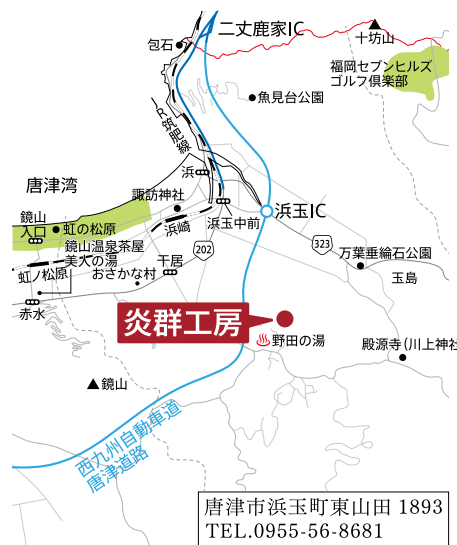
1969年生まれ。
幸悦窯で2年修業した後、開窯・独立。

- 駐車場 (20台)
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

炎群工房

ホムラコウボウ



唐津市浜玉町東山田 1893
TEL.0955-56-8681

幸悦窯で修行をした後に独立した碇さん。師匠のアドバイスを受けてつくった大きな窯は、自慢の手作りだ。作陶のこだわりは「美しさと迫力」。美しさとは形、姿、口、ひずみ具合。迫力とは石はぜと絵。作り手として、「感覚が全てだ」と話す。

いま碇さんが最もつくりたいものは、ぐい呑みだ。ぐい呑みは、一番難しいが、唐津の土を表現しやすく、迫力を出しやすいと話す。形・土・口作り・焼きの全てが上手いかなないと良いぐい呑みは生まれませんが、やる以上は極めて行きたいと碇さんは意気込んでいる。碇さんの納得がいったぐい呑みがお披露目される日がいまから楽しみだ。

美しさと迫力。感覚を器に込める。